

HyOxMIB水溶化・油溶化コロイドミネラル粉末の使用法

HyOxMIBミネラルは、水が美味しくなるシリカをはじめとして自然界の鉱物から生体に必須な20元素（ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、リン、鉄、亜鉛、銅、マンガン、ゲルマニウム、セレン、クロム、ニッケル、モリブデン、リチウム、コバルト、ヨウ素、バナジウム、ホウ素、ストロンチウム、チタン、ジルコニウム、アルミニウム等）余りを採り出すことでバランス良く調合し、薬品等により化学処理することなく、自然界の雷放電の仕組みを物理的に再現した特許出願中の新開発 HyOxMIB 反応炉によって作りました。製法の詳細は特許公開2004-74150号を参照ください。水が分解して発生した水素と酸素を各種元素の鉱物結晶中に閉じ込めたのが最大の特徴となっています。このため、水や油にコロイドとなって溶化する高濃度水素・酸素水を作り出すことができます。

試験開始に当っては、20元素余り配合した HyOxMIB(A級：効能 強)ミネラル、食品添加物及び飼料添加物として添加が認められた鉱物元素を配合した10元素（シリカ、ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄、亜鉛、マンガン、リン、ヨウ素、コバルト、銅）余りの HyOxMIB (C級：効能 弱)の2種類を準備する予定。

使用法

HyOx-MIBミネラルは、微粉末が点眼容器に入っています。点眼容器の蓋を取って、下に向けてボディを絞ると粉体が噴射されるようになっています。1回当りの噴射量はおおよそ2～5mg程度です。

まず、100L水槽から水約500ccを取ってペットボトル等に移してください。（200L水槽なら、水約1000ccを取ってください。）

この500ccペットボトルの水に点眼容器の HyOxMIB を2回程度噴射してください。（1000ccペットボトルの場合は HyOxMIB を4回程度噴射してください。）

HyOxMIB の粉体が入ったペットボトルを振って溶かしてください。

HyOxMIB を溶かした水は、そのまま、24時間放置してください。

上記の24時間放置した HyOxMIB 水を100L水槽なら最初は約10cc程度を水槽に投入するところからはじめてください。200L水槽なら約20ccとなります。これを水槽中への投入について、朝又は夕方の毎日1回だけ、行ってください。もし、効果がなく、魚も元気な様子なら、更に10cc又は20ccずつ増やしてもらって結構です。最終的には、100L水槽なら、毎日1回投入する HyOxMIB 水を100ccまで、200L水槽なら、200ccまで増やすことができます。

注意事項

HyOxMIB 粉体には、生体に有害な無機元素成分は一切入っていないので、基本的に、0.5g程度の粉体を人が誤って飲用しても危険性はありませんが、念のため、取扱いには注意して、飲用することのないようにお願いします。

上記の HyOxMIB は、基本的に、最新の科学技術を駆使して造った世界初とも言える水溶化・油溶化無機鉱物の粉体であります。特に、（水?）陸の植物栽培の育成には、驚異的とも言える効果が徐々に確認されるようになっています。但し、効果が大きい分、一部の魚種には有害となることがないとは言えません。ある程度のリスクがあることをご理解願います。

HyOxMIB 粉体は、水草を栽培していない水槽には、決して使用しないでください。

植物が、微量元素のミネラルを吸収しますので、水草が一切入っていない水槽におきましては、水槽内に蓄積する恐れがあって、一部の魚種に有害となる恐れがあります。

試験方法

厳密には、同一種類の水草、同一種類の魚種がいる水槽 2 台が必要となり、そのうち、A の水槽は通常使用とし、B の水槽について、HyOxMIB の粉体を上記使用方法に従って試験するのが望ましい。

但し、現在の飼育環境について、水草の生育速度や、魚種毎の調子のメモ（又は把握）があれば、HyOxMIB 粉体使用後の水草の生育速度や、魚種毎の調子の優劣を評価してデータが採取できれば、これを良しとします（経験者としての主観でも構いません）。

水質のデータについて、アンモニウムイオン、亜硝酸イオン、硝酸イオン、PH 等の変動を追跡してもらえれば、尚結構だと思います。

要は、試験者が継続して使いたくなるかどうかのポイントです。

試験スケジュール

効能強の HyOxMIB の（A 級）及び効能弱の（C 級）とも、およそ、試験期間としては 3 ヶ月程度とします。

試験条件と採取すべき試験データ

- ・水草の本来の色合いはどうか？
- ・水草の成長の速度
- ・水の汚れ具合（水質の変化）
- ・水替えの頻度はどう変化したか？

明示してほしい条件

- ・底床の種類
- ・水草の種類、名称
- ・魚種と魚種毎の匹数
- ・水槽の大きさ
- ・ろ過の方式
- ・水替えの頻度はどうか？
- ・底床の肥料の有無

以 上